

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-220882

(43)Date of publication of application : 26.08.1997

(51)Int.Cl.

B42D 11/00

(21)Application number : 08-055510

(71)Applicant : ASUTERU TOHOKU:KK

(22)Date of filing : 19.02.1996

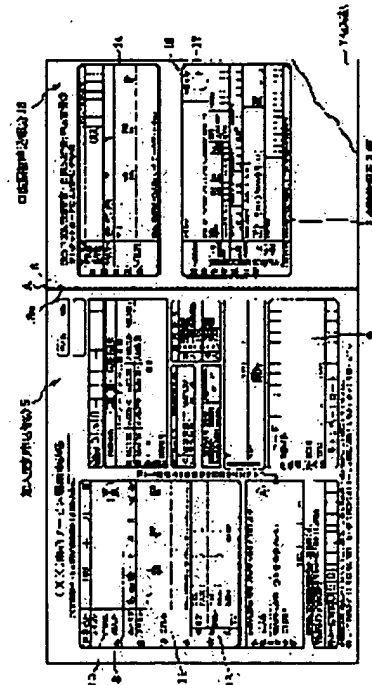
(72)Inventor : SHUDO HIROSHI
ICHIKAWA KAZUAKI

(54) CONTRACT APPLICATION FORM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a contract application form, with which a contract conclusion rate may be enhanced under the condition that a continuous and smooth charge collection is secured.

SOLUTION: In the second page of a contract application form, an admission contract application portion 5, at the end part of which a copying paper 7 is connected through perforation 6, is provided. Onto the surface of the coping paper 7, an account transfer application portion 13, which is made into the form of a postcard satisfying the conditions on a postal act, is stuck separably. The account transfer application portion 13 has the description of a title 'deposit account transfer request form and automatic payment using application form' and a contract applicant column 14 and a financial information entry column 15 and the like are printed in the portion 13. In the financial information entry column 15, a depositor name entry column 16, a sealing column 17 for sealing a seal notified to a bank and the like are printed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-220882

(43)公開日 平成9年(1997)8月26日

(51)Int.Cl.⁶

B 4 2 D 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

B 4 2 D 11/00

技術表示箇所

R

審査請求 未請求 請求項の数6 F D (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平8-55510

(22)出願日 平成8年(1996)2月19日

(71)出願人 396003560

株式会社アステル東北

宮城県仙台市青葉区大町2-15-28 藤崎

大町ビル

(72)発明者 首藤 広

宮城県仙台市青葉区大町2-15-28 藤崎

大町ビル 株式会社アステル東北内

(72)発明者 市川 一昭

宮城県仙台市青葉区大町2-15-28 藤崎

大町ビル 株式会社アステル東北内

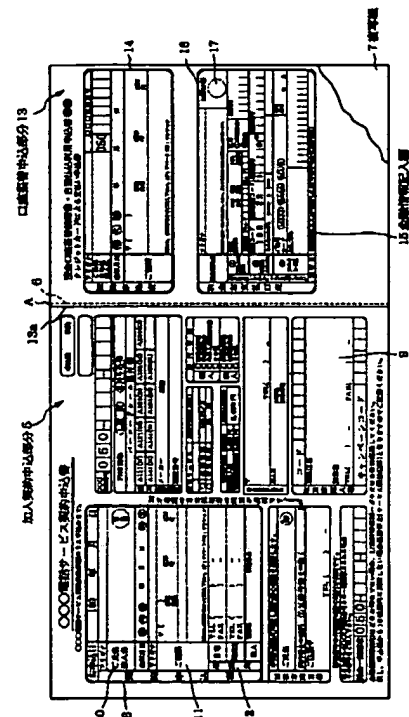
(74)代理人 弁理士 三好 千明

(54)【発明の名称】 契約申込書

(57)【要約】

【課題】 継続的かつ円滑な料金徴収を担保しつつ、成約率を高めることのできる契約申込書を提供する。

【解決手段】 契約申込書1の2頁目には、加入契約申込部分5が設けられており、この加入契約申込部分5の端部には、ミシン目6を介して複写紙7が連設されている。複写紙7の表面には、郵便法上の条件を充足する葉書形態からなる口座振替申込部分13が剥離可能な状態で貼着されている。この口座振替申込部分13には、表題「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」なる記載とともに、契約申込者欄14や金融情報記入欄15等が印刷形成されており、この金融情報記入欄15には、預金者氏名記入欄16、銀行届出印を捺印するための捺印欄17等が印刷形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定事項の記入欄が形成された加入契約申込部分と、所定事項の記入欄及び捺印欄が形成された口座振替申込部分とを有する契約申込書において、前記口座振替申込部分を葉書形態とするとともに、この葉書形態からなる口座振替申込部分を離脱可能としたことを特徴とする契約申込書。

【請求項2】 前記加入契約申込部分の端部に、前記葉書形態からなる口座振替申込部分を分離可能に連設したことを特徴とする請求項1記載の契約申込書。

【請求項3】 前記葉書形態からなる口座振替申込部分の裏面には、該裏面に接面する表面に複写面を有する複写紙が剥離可能に貼着されていることを特徴とする請求項1又は2記載の契約申込書。

【請求項4】 前記口座振替申込部分に設けられている金融情報記入欄に記入済み後、該金融情報記入欄に剥離可能に貼着されるシールを有することを特徴とする請求項1、2又は3記載の契約申込書。

【請求項5】 前記複写紙は、所定色に着色されていることを特徴とする請求項4記載の契約申込書。

【請求項6】 前記複写紙の裏面には、微小な文字からなる文字群により所定事項が、宛て先とともに印刷されていることを特徴とする請求項4又は5記載の契約申込書。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電気や電話等のサービスを受ける際の契約時に使用される契約申込書に関する。

【0002】

【従来の技術】電気や電話等の継続的なサービスの契約時に使用される契約申込書は、継続的且つ円滑な料金徴収を担保できる構成であることが望ましい。このため、この種継続的なサービスの授受に際しての契約時には、氏名、住所等の加入者を特定するために記入部分である加入契約申込部分と、継続的且つ円滑な料金徴収を可能にするための口座振替申込部分とを一体化した契約申込書が使用されている。かかる形態の契約申込書を使用することにより、サービス契約と同時に口座振替契約もなされ、これにより事業者において継続的且つ円滑な料金徴収が可能となる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、例えば来店した客を勧誘し店頭で電気や電話の加入申込を受ける場合、加入希望者は銀行届出印を所持しておらず、また、口座番号も記憶していないのが通常である。したがって、加入契約申込部分と口座振替申込部分とを一体に有する契約申込書において、店頭では口座振替申込部分の記入必要事項及び必要な捺印を行うことができない。

てもらうこととなり、その結果、事業者には下記に示す不利益が生ずる。

【0004】(a) 加入申込時に同時に口座振替申込部分を必要としない他社があった場合、手続きが簡便な当該他社に加入を変更されてしまい、顧客を失う。

【0005】(b) 自宅に持ち帰って記入・捺印後再度来店するまでの間に、時間的な猶予が生ずることから、その間に加入意欲を喪失してしまい、顧客を失う。

【0006】(c) 自宅に持ち帰った後、記入等を忘れてしまったり紛失してしまったりし、このとき店側には、当該加入希望者に関する記録がないことから、連絡して加入を促すことができず、顧客を失う。

【0007】したがって、来店した者を熱心に勧誘して加入意欲を生じさせたのにも拘わらず、この加入意欲を有した者を顧客として確保することができない。無論、

(a) に示した他社のように、口座振替申込を必要としない形式の契約申込書を用いれば、このように顧客を失う不利益を生じないわけであるが、顧客に対し口座振替申込を別途必要となり、顧客に不利益が生じる。また、かかる形式の契約申込書を用いると、成約率を高めることができる反面前述した継続的且つ円滑な料金徴収を担保することができない。

【0008】本発明は、このような従来の課題に鑑みてなされたものであり、継続的かつ円滑な料金徴収を担保しつつ、成約率を高めることのできる契約申込書を提供することを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために請求項1記載の本発明にあっては、所定事項の記入欄が形成された加入契約申込部分と、所定事項の記入欄及び捺印欄が形成された口座振替申込部分とを有する契約申込書において、前記口座振替申込部分を葉書形態とするとともに、この葉書形態からなる口座振替申込部分を離脱可能としてある。

【0010】かかる構成において、店頭での申込契約を受諾するに際しては、先ず加入希望者に対し加入契約申込部分に、氏名、住所等の所定事項を記入させ、この時点で申込契約を成立させる。よって、この時点から他社に当該加入希望者を獲得されてしまうおそれはなくなる。また、加入希望者にあってもこの加入契約申込部分への記入により、契約したことを自覚することから、他社への申込意志が抑制される。

【0011】そして、加入契約申込部分への必要な加入が完了したならば、口座振替申込部分のみを離脱して、これを持ち帰らせる。この口座振替申込部分を持ち帰った加入希望者は、帰宅後氏名、口座番号等の所定事項を記入し銀行届出印を捺印する。このようにして記入及び捺印を終えた口座振替申込部分は、葉書形態であることから、そのまま投函すれば再度来店する必要なく、口座

【0012】また、請求項2記載の発明にあっては、前記加入契約申込部分の端部に、前記葉書形態からなる口座振替申込部分を分離可能に連設してある。よって、後日加入契約申込部分の記入内容をチェックした際に、口座振替申込部分の有無により、当該申込者が口座振替申込部分を持ち帰った者であるかを同時にチェックすることができる。

【0013】また、請求項3記載の発明にあっては、前記葉書形態からなる口座振替申込部分の裏面には、該裏面に接面する表面に複写面を有する複写紙が剥離可能に貼着されている。よって、加入希望者が記入を行うと、記入事項が複写紙に複写される。したがって、投函後に口座振替申込部分が送達された事業者は、この口座振替申込部分から複写紙を剥離して保存しておけば、コピーすることなく顧客の口座振替に関する情報を収集・保存することができる。

【0014】さらに、請求項4記載の発明にあっては、前記口座振替申込部分に設けられている金融情報記入欄に記入済み後、該金融情報記入欄に剥離可能に貼着されるシールを有する。したがって、口座振替申込部分を加入希望者に渡す際、シールも一緒に渡せば、加入希望者が金融情報記入欄に記入済み後、このシールを貼着することにより、郵送時に金融情報が漏洩する不都合が抑制される。

【0015】また、請求項5記載の発明にあっては、前記複写紙が所定色に着色され、請求項6記載の発明にあっては、前記複写紙の裏面には、微小な文字からなる文字群により所定事項が、宛て先とともに印刷されている。よって、薄青色及び文字群により複写紙に複写された文字の顕在化が防止される。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図に従って説明する。本実施の形態にかかる契約申込書は、PHSの契約申込時に使用されるものであり、図1に示すように契約申込書1は横長長方形形状であって、表紙2を1頁目として5頁で構成されて、各頁は左端部の綴り部3にて結合されている。表紙2には、「〇〇電話サービス契約申込書」なる文字等が印刷されているとともに、裏面に不乾性接着剤が塗布されたシール4が剥離及び再貼着可能に貼着されている。このシール4は、後述する口座振替申込部分の金融情報記入欄を隠蔽し得る面積を有している。

【0017】契約申込書1の2頁目には、図2に示すように、加入契約申込部分5が設けられており、この加入契約申込部分5の端部には、ミシン目6を介して複写紙7が連設されている。加入契約申込部分5には、表題「〇〇電話サービス契約申込書」及び契約内容を示す「〇〇電話サービス契約約款承認のうえ申込みます。」等が印刷されているとともに、契約申込者欄8及び業者

は、氏名記入欄10、住所記入欄11、連絡先記入欄12等で構成されている。

【0018】前記複写紙7の表面には、郵便法上の条件を充足する葉書形態からなる矩形状の口座振替申込部分13が剥離可能な状態で貼着されている。この口座振替申込部分13には、表題「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」なる記載とともに、契約申込者欄14や金融情報記入欄15等が印刷形成されており、この金融情報記入欄15には、預金者氏名記入欄16、銀行届出印を捺印するための捺印欄17等が印刷形成されている。なお、加入者契約申込部分5において、前記ミシン目6と口座振替申込部分13の左端縁13a間の領域Aは、特殊印刷により口座振替申込部分13と非貼着状態に維持されている。

【0019】前記複写紙7の表面、つまり口座振替申込部分13が貼着されている面には、これら契約申込者欄14や金融情報記入欄15等の図2に示した当該口座振替申込部分13と同一の欄及び文字が印刷されている。また、複写紙7の裏面には、図3に示すように、その一部分7aに郵便法に従った料金受取人払を示す事項や宛て先が印刷され、他方部分7bには預金口座依頼規定やクレジットカードによる支払規定が微小な文字からなる文字群18にて印刷されている。

【0020】なお、この複写紙7は、複写された文字の判読を困難にすべく、複写紙7が発色するインクと同色である薄青色に着色されており、また、3頁目から5頁目までは各々複写紙からなり、3頁目及び4頁目は前述した加入契約申込部分5とほぼ同一の内容が印刷され、5頁目は加入契約申込部分5及び口座振替申込部分13とほぼ同一の内容が印刷されている。

【0021】以上の構成にかかる本実施の形態において、店頭で申込契約を受諾するに際しては、先ず加入希望者に対し加入契約申込部分5の加入申込者欄8に、氏名、住所、連絡先等の所定事項を記入させて申込契約を成立させる。この加入契約申込部分5への記入により、加入希望者の加入申込が確約されることから、加入申込時に銀行届出印を必要としない他社があっても、当該他社に加入を変更されてしまうことはなく、顧客を確保することができる。また、加入希望者が銀行届出印を所持し且つ口座番号を記憶している場合には、口座振替申込部分13の契約申込者欄14及び金融情報記入欄15にも記入させるとともに、捺印欄17に銀行届出印を捺印させることにより、全ての手続きは完了する。

【0022】しかし、来店する加入希望者は、銀行届出印を所持しておらず、また口座番号を記憶していないことが一般的であることから、この場合にはミシン目6にて複写紙7を加入契約申込部分5から切り離す。これにより、複写紙7と共に該複写紙7の表面に貼着されている口座振替申込部分13も一体に、加入契約申込部分5

口座振替申込部分13を加入希望者に渡す際には、表紙2からシール4を剥離して共に持ち帰らせる。

【0023】このとき、口座振替申込部分13は店頭で記入を行う加入契約申込部分5の端部に連設されていることから、店員において加入契約申込部分5を加入希望者に渡すのを忘れてしまうことはなく、確実に加入契約申込部分5を加入希望者に渡すことができる。また、後日加入契約申込部分5の記入内容をチェックした際に、口座振替申込部分13の有無により、当該申込者が口座振替申込部分13を持ち帰った者であるか、来店時に口座振替申込部分13への記入・捺印を済ませている者かを同時にチェックすることができる。

【0024】この複写紙7を一体に有する口座振替申込部分13とシール4とを持ち帰った加入希望者は、帰宅後、契約申込者欄14に氏名、住所等を記入するとともに、金融情報記入欄15に預金者氏名、口座番号等の所定事項を記入し、捺印欄17に銀行届出印を捺印する。これにより、複写紙7には、加入希望者が記入した事項と同一事項が複写される。

【0025】そして、必要な記入捺印を終えたならば、シール4を金融情報記入欄15に貼着し、該金融情報記入欄15に記載されている事項を隠蔽する。これより、郵送時に金融情報記入欄15の記載内容が漏洩する不都合が防止され、加入希望者が金融情報の記入を嫌がることがない。また、複写紙7にも、口座振替申込部分13と同一記載事項が複写されるが、この複写紙7は前述のように、薄青色に着色されており且つ他方部分7bには預金口座依頼規定やクレジットカードによる支払規定を示す文字群18が印刷されていることから、複写紙7に複写された記載事項が透けて見えることはなく、加入者に金融情報の記入を促すことができる。

【0026】このようにして記入及び捺印を終えた複写紙7を一体に有する口座振替申込部分13は、葉書形態であることから、投函すれば印刷されている宛て先（事業者）に到達し、加入希望者は再度来店する必要ない。また、口座振替申込部分13を持ち帰った加入希望者が、これを投函することを忘れてしまったり、紛失してしまった場合であっても、店頭での加入契約申込部分5への記入により申込契約が成立していることか、他社に当該加入希望者を奪われることもない。しかも、加入契約申込部分5には、住所、氏名が記載済みであるとともに、連絡先記入欄12に連絡先が記入済みであることから、当該加入希望者に連絡して口座振替申込部分13の発送を促したり、紛失した場合には口座振替申込部分13のみを郵送することもできる。

【0027】そして、複写紙7を一体に有する記入済みの口座振替申込部分13が送達されたならば、事業者はシール4を剥離して除去するとともに、複写紙7を剥離した後、口座振替申込部分13のみをまとめて、対応する銀行に送付する。これにより、銀行での口座振替処理

が開始されることとなり、継続的且つ円滑な料金徴収が担保されることとなる。

【0028】一方、剥離した写紙7には、口座振替申込部分13と同一の直筆による記載事項が複写されていることから、口座振替申込部分13を銀行に送付するに際して、これをコピーして保存する必要はない。すなわち、仮に複写紙7が貼着されることなく、口座振替申込部分13のみを切り離して加入希望者に渡す構造とした場合、該口座振替申込部分13の直筆による複写が得られず、また口座振替申込部分13は銀行に渡してしまうことから、事後処理の必要性から口座振替申込部分13をコピーして保存しなければならない。しかし、本実施の形態においては、口座振替申込部分13に複写紙7が貼着され、この複写紙7には事業者に送達された時点で、口座振替申込部分13への記載事項と同一内容が直筆で記載されている。したがって、口座振替申込部分13をコピーすることなく、事後処理に必要な書類が得られ、口座振替申込部分13のみを郵送形式としたことに起因する事後処理の煩雑化を未然に防止することができる。

【0029】なお、本実施の形態においては、PHSの契約申込に際して用いる契約申込書に本発明を適用した場合を示したが、これに限ることなくクレジットカード、電気、ガス、有料放送、新聞雑誌の定期読購等のサービスや、サービスのみならず物品の売買等に適用できることは勿論である。また、本実施の形態においては、加入契約申込部分5の端部にミシン目6を介して複写紙7を連設し、該複写紙7に口座振替申込部分13を貼着するようにしたが、加入契約申込部分5の端部にミシン目6を介して口座振替申込部分13を連設し、該口座振替申込部分13に複写紙7を貼着するようにしてもよいし、加入契約申込部分5と口座振替申込部分13とを別葉としてもよい。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、加入契約申込部分と口座振替申込部分とを有する契約申込書において、口座振替申込部分を葉書形態とするとともに、この葉書形態からなる口座振替申込部分を離脱可能とした。よって、銀行届出印を所持せずや口座番号を記憶していない者を含め全て加入意欲を起こした者の申込手続をその場で完了させることができ、これにより勧誘時における成約率の向上を図ることができる。また、この申込手続の完了に伴って、加入希望者は口座振替申込部分の郵送を心理的に義務付けられ、しかも口座振替申込部分は葉書形態であって、再度来店する必要はなく記入後投函すればよいことから、口座振替申込部分の回収を速やかに行うことができ、よって、継続的かつ円滑な料金徴収を担保しつつ、成約率を高めることのできる。

【0031】また、加入契約申込部分の端部に、口座振替申込部分を分離可能に連設したことから、後日加入契

7

約申込部分の記入内容をチェックした際に、口座振替申込部分の有無により、当該申込者が口座振替申込部分を持ち帰った者であるか、来店時に口座振替申込部分への記入・捺印を済ませている者かを同時にチェックすることができる。

【0032】また、葉書形態の口座振替申込部分の裏面には、該裏面に接面する表面に複写紙を有する複写紙を剥離可能に貼着したことから、加入希望者から送達された口座振替申込部分をコピーすることなく、口座振替申込部分への記載事項と同一内容が直筆で記載された書面を得ることができる。したがって、口座振替申込部分のみを分離して郵送形式としたことに起因する事後処理の煩雑化を未然に防止することができる。

【0033】さらに、口座振替申込部分に設けられている金融情報記入欄に記入済み後、該金融情報記入欄に剥離可能に貼着されるシールを有する構成とした。よって、郵送時に金融情報記入欄の記載内容が漏洩してしまうという加入希望者の危惧を抑制して、金融情報の記入を促すことができる。

【0034】また、複写紙を所定色に着色し、あるいは所定事項を微小な文字からなる文字群により印刷するようにしたことから、複写紙に複写された文字の判読を困難にすることができる。よって、前記シールの貼着とも

8

相俟って、郵送時における金融情報記入欄の記載内容が明らかになってしまうという加入希望者の危惧を抑制することができる。その結果、金融情報記入欄を有する口座振替申込部分を郵送とすることに対する抵抗を解消して、この契約申込書の使用率を高め、延いては成約率の向上を図ることができる。

【0035】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態にかかる契約申込書の表紙を示す平面図である。

【図2】同契約申込書の2頁目を示す平面図である。

【図3】複写紙が貼着された状態における口座振替申込部分の裏面図である。

【符号の説明】

1 契約申込書

4 シール

5 加入契約申込部分

6 ミシン目

7 複写紙

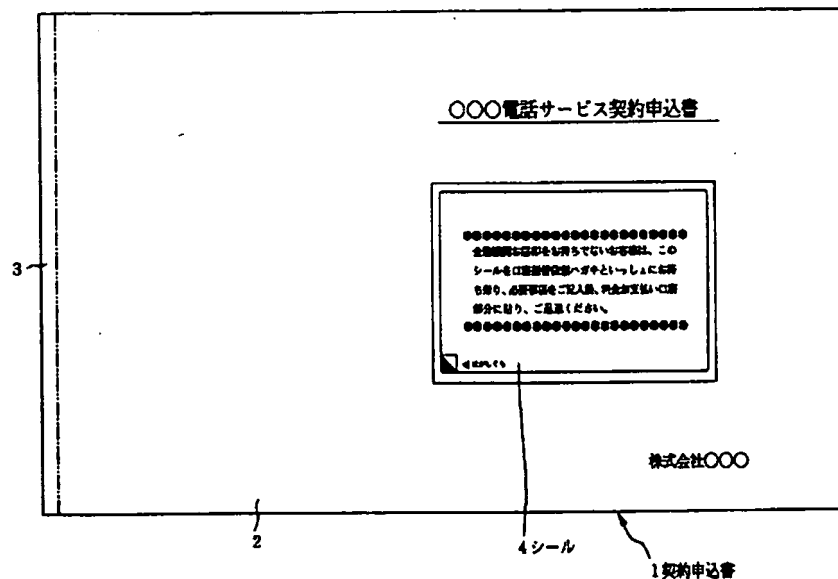
10 13 口座振替申込部分

15 金融情報記入欄

17 捺印欄

18 文字群

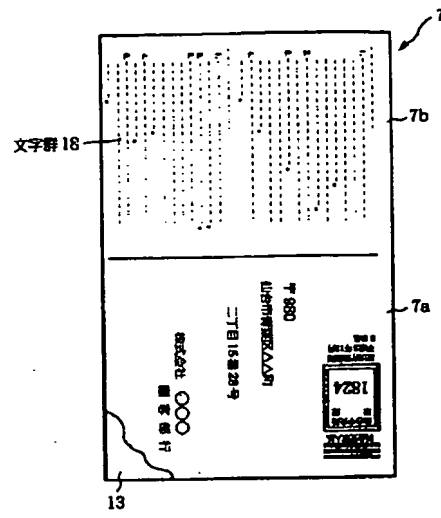
【図1】



7 復寫紙

15 金融情報記入欄

【図3】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.